社会資本総合整備計画 事後評価書 令和03年10月13日

計画の名	称 岡山県地	域住宅等整備計画								
計画の其	引間 平成 2	8年度 ~ 平成32年度 (5年	間)						重点配分対	象の該当
交付対	象 岡山県									
計画の目	標 ・「誰も	が安全・安心・快適を実感できる住	生活の実現」を目指す。							
A // -	Mr. th. (-t	2		1 - 1	-1 -1		1 -1	- N. E. ISSUE	at NIII with a start A and A (A) and a	. = \
全体事	業費(百万円	引) 合計 (A+B+C+D)	250 A	238 B	0 C		12 D	0 効果促進事	写業費の割合 C / (A + B + C	+D) 4.8 %
					計画の成果目標(定量	的指標)				
番号									定量的指標の現況値及び目標	聚值
钳勺			定量的指標の定	義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
								(H28当初)	_	(H32末)
1	・県営住宅 <i>0</i>)長寿命化の実施割合								
	県営住宅の長	寿命化のために電源改修工事を実施	したものの割合		707‰	‰	1000‰			
	(改善事業)	z施済戸数) / (対象管理戸数)]	H28:675戸/955戸 H32:955戸/	955戸						
										_
										T
										T
									l	
				個別施設計画を含む	- 国土強靱化を含む	t	定住自立圏を含む	- 連携中枢都市圏を含む	- 流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む -
		mu 3-3					,_,_,_		2.2 7.2 7.2 NET 100 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	_ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,

A 基幹事業																	
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接間接		種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業第 H28 H		間(年 30 H31	全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
			実施する	ることによ	より期待	される効果					1	<u> </u>		•			
		備考	_	_													
地域住宅計画に基づ		住宅	一般	岡山県	直接	岡山県		_	地域住宅計画に基づく事	県営住宅の電源改修 280戸	県内全域			• •	123	_	策定済
く事業	A15-001								業(公営住宅等ストック総	等							
									合改善事業)								
		住宅	一般	岡山県	直接	岡山県	<u> </u>	_	地域住宅計画に基づく事	公営住宅等長寿命化計画策定	県内全域				0		-
	A15-002								業(公営住宅等ストック総	支援事業							
									合改善事業)								
		住宅	一般	岡山県	直接	岡山県	<u> </u>	_	地域住宅計画に基づく事	住宅新築資金等貸付助成事業	県内全域				115		_
	A15-003								業(住宅地区改良事業等)								
											小計				238		
					$\overline{}$						合計				238		
			•											•			
													T				
			1					1	I	I					I		
					<u> </u>		T	Τ									

C 効果促進事業																		
		事業	地域	交付	直接		ecui.	ttill o	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	事業	実施	期間((年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別 l	種別 2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾•地区名	H28	H29	H30 H	31 R02	(百万円)	便益比	
		一体的に	実施する	ることによ	り期待る	される効果	1			1						l		'
		備考																
地域住宅計画に基づ		住宅	一般	岡山県	直接	岡山県	_	_	公営住宅の建替に係る移	津山団地の入居者の移転促進	津山市					0		_
く事業	C15-001								転事業									
		津山団地	の入居者	当の移転を	- 行い、	公営住宅の建	!替事業(買取)を	:円滑にすすめる。							1		'
		住宅	一般	岡山県	直接	岡山県	_	_	公営住宅の改善に係る設	山陽団地の工事監理	県内全域					6		_
	C15-002								計・監理等事業									
		公営住宅	L の改善に	L こ係る設計	 - ・ 監理等	L	ことによ		L ック改善事業を円滑にすす	 める。								
									,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,									
		住宅	一般	岡山県	直接	岡山県	Ι_	_	岡山県住生活基本計画策	住生活基本計画改訂の支援業	県内全域					6		1_
	C15-003		/42	1. 31-1214		1.31-1210			定支援事業	務	71.72							
		11.1111/	IXI 9 '0' E	長十十八の日	I M.C CVI	11 0 / 11 11 11	100 5 7 100	中田 (水)久〇	同工の促進に関する地外で	1年200								
									T		小計					12		1
											/17百1					12		
					1	ı	_	I	T	1	T	1 1				I	T	
											合計					12		
					-													
			1				1	1		1	1							
						l	1	<u> </u>	l	1	I							1

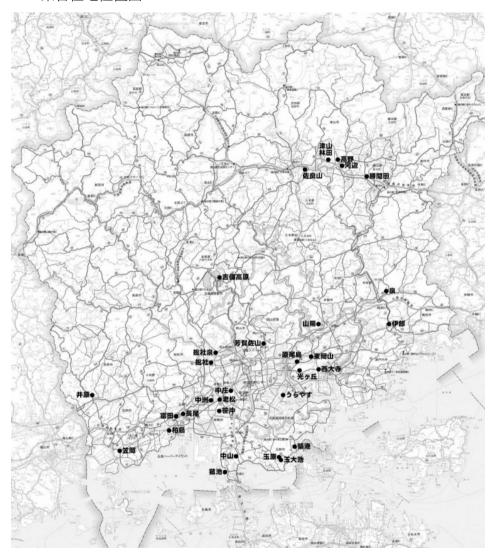
	事後評価
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岡山県において評価を実施	令和3年9月
	公表の方法
	岡山県ホームページで公表
○事業効果の発現状況	
	・山陽団地の電源改修工事を行った結果、電源施設の安全性及び性能が向上したことにより、住生活の快適性が向上した。
定量的指標に関連する	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
交付対象事業の効果の発現状況	
XII/IX # /K - 2/MI/K - 2/L-2/L-1/L-1/L-1	
定量的指標以外の交付対象事業の	
効果の発現状況(必要に応じて記述)	
○特記事項(今後の方針等)	
今後の建替、ストック総合改善事業に 3年度に改訂予定)に基づいて行う。	ついては、平成22年度に策定した岡山県宮住宅長寿命化計画及ひ平成23年度に策定した岡山県住生活基本計画【改訂版】(令相
今回達成できなかった指標目標につい	ついては、平成22年度に策定した岡山県営住宅長寿命化計画及び平成23年度に策定した岡山県住生活基本計画【改訂版】(令和いては、次期整備計画において引き続き取り組むこととしており、目標を達成できるよう、引き続き効率的な予算執行や、適切な
事業の進捗管埋を実施する。 	

○目;)目標値の達成状況											
亚口	指標(略称)											
番号	目標値/	/実績値	目標値と実績値に差が出た要因									
	県営住宅	どの長寿命化の実施割合										
1	最終目標値	1000‰	令和元年度までは計画通りに順調に工事を実施してきたが、最終年度に入札不調により工事の実施ができなかったため、目標を下回った。									
	最終 実績値	958‰										

 計画の名称
 岡山県地域住宅等整備計画

 計画の期間
 平成28年度~令和2年度(5年間)
 交付対象
 岡山県

県営住宅位置図



- A-15-001 公営住宅等ストック総合改善事業
- A-15-002 公営住宅等ストック総合改善事業(公営住宅等長寿命化計画策定事業)
- A-15-003 住宅地区改良事業等(住宅新築資金等貸付助成事業)
- C-15-001 公営住宅の建替に係る移転事業 ・津山団地の入居者の移転をすすめる。
- C-15-002 公営住宅の改善に係る設計・監理等事業
 - ・公営住宅の改善に係る設計・監理等事業を行うことにより、ストック改善事業を円滑にすすめる。
- C-15-003 岡山県住生活基本計画策定支援事業
 - ・住生活に関する基本的な計画を定め、住生活の安定の確保及び向上の促進に関する施策を推進する。

社会資本総合整備計画 事後評価書 令和03年10月13日

	計画の名	名称 岡山県地域信	宅等整備計画(防災・安全)											
語画と目標 ・「誰もが変を・変も・検証を失滅ささる仕生活の失現」を目音す。 ***********************************	計画の期	月間 平成28年	度 ~ 令和02年度 (5年間)						重点配分対	象の該当				
	交付対	象 岡山県												
###	計画の目	・「誰もが安	全・安心・快適を実感できる住生活	舌の実現」を目指す。										
### 12	全体事	体事業費(百万円) 合計(A+B+C+D) 1,923 A 1,868 B 0 C 55 D 0 効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D) 2.86 %												
### 12														
### 12						前の成里日煙(定量的指	桓)							
### 定職的指標の定義及び算定式					н	国。70人从口际(凡里印)日	NA./		定量的指標の現況値及び目標	値				
・パリアフリー化した県営住宅の割合	番号			定量的指標の定	・義及び算定式			当初現況値	中間目標値	最終目標値				
パリアフリー化 (高齢者・障害者等対応) した県営住宅の割合 (パリアフリー化した住宅戸数) (管理戸数) R28:1,088戸/6,800戸 R2:1,088戸/6,718戸 2 建設後30年以上経過した中層耐火県営住宅の支持命化の支援割合 (改善事業実等を実施したものの割合 (改善事業実施済戸数) (対象管理戸数) R28:2,809戸/3,473戸 R2:3,423戸/3,805戸														
(パリアフリー化した住宅戸数) / (管理戸数) H28:1,088戸/6,800戸 R2:1,088戸/6,718戸 ・中層耐火県営住宅の長寿命化の実施割合 建設後30年以上経過した中層耐火県営住宅のうち、長寿命化のためのストック総合改善事業等を実施したものの割合 (改善事業実施済戸数) / (対象管理戸数) H28:2,809戸/3,473戸 R2:3,423戸/3,805戸	1													
2 ・中層耐火県営住宅の長寿命化の実施割合 建設後30年以上経過した中層耐火県営住宅のうち、長寿命化のためのストック総合改善事業等を実施したものの割合 809% 900% (改善事業実施済戸数) / (対象管理戸数) H28:2,809戸/3,473戸 R2:3,423戸/3,805戸		バリアフリー化(高齢者・障害者等対応)した県営住宅の割合 159% % 162%												
建設後30年以上経過した中層耐火県営住宅のうち、長寿命化のためのストック総合改善事業等を実施したものの割合 809% %。 900% (改善事業実施済戸数) / (対象管理戸数) H28:2,809戸/3,473戸 R2:3,423戸/3,805戸		(バリアフリー化した住宅戸数) / (管理戸数) H28:1,088戸/6,800戸 R2:1,088戸/6,718戸												
(改善事業実施済戸数) / (対象管理戸数) H28:2,809戸/3,473戸 R2:3,423戸/3,805戸	2													
						割合		809‰	‰	900‰				
備考等		(改善事業実施済	i戸数)/(対象管理戸数) H	28:2, 809戸/3, 473戸 R2:3,	, 423戸/3, 805戸									
備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む - 海塊中枢都市圏を含む - 流域水循環計画を含む - 地域再生計画を含む - 地域再生計画を含む -														
備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含む - 地域再生計画を含む -														
備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含む - 流域水循環計画を含む - 地域再生計画を含む -														
備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含む - 流域水循環計画を含む - 地域再生計画を含む -														
備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含む - 流域水循環計画を含む - 地域再生計画を含む - 地域再生計画を含む -														
備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含む - 流域水循環計画を含む - 地域再生計画を含む -														
備考等														
備考等														
備考等									<u> </u>					
備考等														
備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む - 連携中枢都市圏を含む - 流域水循環計画を含む - 地域再生計画を含む -														
			備考等		個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む	- 定住自立圏を含む	- 連携中枢都市圏を含む -	- 流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む -				
						-	,			,				

A 基幹事業																	
		事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/			(年度)	全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接		作里力リ	1生力15乙	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H28 H	29 H30	H31 R02	(百万円)	便益比	策定状況
			実施する	ることによ	り期待る	される効果											
		備考		Г		T	1		Τ	T	ı				T T		
地域住宅計画に基づ		住宅	一般	岡山県	直接	岡山県	_	_	地域住宅計画に基づく事	県営住宅の建替 71戸	岡山市				105	_	策定済
く事業	A15-001								業(公営住宅等整備事業)								
		住宅	一般	岡山県	直接	岡山県	_	_	地域住宅計画に基づく事	県営住宅の外壁改修・屋上防	県内全域				1, 763	_	策定済
	A15-002								業(公営住宅等ストック総	水等 614戸等							
									合改善事業)								
					•								'				
											小計				1, 868		
			I.	ı	1	I.	1		I		1				l I		
											合計				1, 868		
			l		1		I										1
					1		l										1
			<u> </u>		1	l	1	<u> </u>			1			1 1			
					1												

C 効果促進事業																			
		事業	地域	1	直接		種別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/						全体事業費	費用	個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別	対象	間接		作里力[] 1	性力了乙	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	H28	H29	H30	H31	R02	(百万円)	便益比	策定状況
			実施する	ることによ	こり期待	される効果													
		備考	1	1	_	T			I		T								
地域住宅計画に基づ		住宅	一般	岡山県	直接	岡山県	-	_	公営住宅の建替に係る移	原尾島団地の入居者の移転促	岡山市						10		_
く事業	C15-001								転事業	進									
		原尾島団	地の入居	居者の移転	云を行い、	、公営住宅の	建替事業	を円滑に	すすめる。										
		住宅	一般	岡山県	直接	岡山県	-	_	公営住宅の建替に係る駐	原尾島団地の駐車場整備	岡山市	地区名 H28 H29 H30 H31 R02 (百万円	28		_				
	C15-002								車場整備事業				H29 H30 H31 R02 (百万円) 便益比						
		原尾島団	地の駐車	車場を整備	青するこ	とによって、	居住環境	が向上す	る。										
		住宅	一般	岡山県	直接	岡山県	<u> </u>	_	公営住宅の改善に係る設	玉原団地等の実施設計・工事	県内全域						17		_
	C15-003		計・監理等事業監理																
		基幹事業	の対象	」 とならない		 宅の安全性確		に係る説	」 計・監理業務を行うことに	よって、改善事業を円滑にすす	 ⁻ める。								
											小計						55		
							1		<u> </u>		l								
											合計	П					55		
							1												
					T							ΤΤ							
							1												
					Τ		Τ					Т							
					Τ							<u> </u>				Т			
			1																4

	事後評価
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岡山県において評価を実施	令和3年9月
	公表の方法 岡山県ホームページで公表
○事業効果の発現状況	
	・原尾島団地の建替(第2期・第3期)を行った結果、バリアフリー化された県営住宅の割合が増え、住生活の快適性が向上し
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	た。 ・山陽団地、総社泉団地、中庄団地、うらやす団地、井原団地、吉備高原団地で長寿命化のためのストック総合改善事業を行った結果、県営住宅の「安全・安心」が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)	
○特記事項(今後の方針等)	
今後の建替、ストック総合改善事業に3年度に改訂予定)に基づいて行う。 今回達成できなかった指標目標につい 事業の進捗管理を実施する。	でついては、平成22年度に策定した岡山県営住宅長寿命化計画及び平成23年度に策定した岡山県住生活基本計画【改訂版】(令和いては、次期整備計画において引き続き取り組むこととしており、目標を達成できるよう、引き続き効率的な予算執行や、適切な

〇目;	標値の達成											
釆旦	指標(略	S 称)										
	口 你 吧 /	大帜胆	目標値と実績値に差が出た要因									
	バリアフ	'リー化住宅の割合										
1	最 終 目標値	162‰	公営住宅の集約が進まなかったことなどから、目標を下回った。									
	最 終 実績値	160‰										
	中層耐火	/県営住宅ストックの改										
2	最 終 目標値	900‰	財源の関係で事業実施を先延ばししたものがあるため、目標を下回った。									
	最 終 実績値	878‰										
		<u> </u>										

(参考様式3) 参考図面(防災・安全交付金)

